

MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

平成 2 5 年 4 月 1 日 消 防 庁

「市町村の消防の広域化に関する基本指針」の改正

消防庁では、災害の大規模化・多様化等の消防を取り巻く環境の変化に的確に対応し、消防本部の一層の体制強化を図るため、「市町村の消防の広域化に関する基本指針」を改正し、公示しました。

【改正のポイント】

- 広域化を実現した消防本部においては、住民サービスの向上等の成果が現れており、<u>広域化は消防防災体制の強化には有効な手法。</u>
- 平成24年度の広域化の期限後も小規模消防本部が多数存在することに加え、 東日本大震災の教訓等を踏まえると、<u>広域化の推進による消防防災体制の整備</u> がこれまで以上に必要。
- 平成24年度までの広域化の状況を踏まえると、広域化の進捗は、地域の実情によって左右される面があるものと考えられることから、<u>今後は、地域の実</u>情を尊重することを基本として下表のとおり見直しを行う。

項目	改正後	改正前	
広域化する際に目標と する消防本部の管轄人 口規模	広域化対象市町村の組合せを検討する際には、30万規模目標には、必ずしもとらわれず、これらの地域の実情を十分に考慮する必要がある。	おおむね30万以 上の規模を一つの目 標とすることが適当	
国・都道府県が支援の対象とする地域	(消防広域化重点地域) 広域化対象市町村の組合せを構成する 市町村からなる地域のうち、広域化の取組を先行して重点的に取り組む必要があるものとして次に該当すると認めるものを都道府県知事が指定、国・都道府県の支援を集中的に実施。 ① 今後、十分な消防防災体制が確保できないおそれがある市町村を含む地域 ② 広域化の気運が高い地域	(広域化対象市町村) 都道府県が消防の 現況、将来の見通し を勘案し、広域化を 推進する必要がある ものとして推進計画 に位置づける市町村	
広域化の実現期限	平成30年4月1日(5年程度延長)	平成24年度末	

〈添付資料〉

- ・市町村の消防の広域化に関する基本指針の改正概要
- ・「市町村の消防の広域化に関する基本指針の一部を改正する告示」(平成 25 年 消防庁告示第4号)



【連絡先】<消防庁 消防・救急課>

担当:中垣内、今井 電話:03-5253-7522 FAX:03-5253-7532

市町村の消防の広域化に関する基本指針の改正概要

※ 消防組織法第31条に基づく市町村消防の広域化

消防本部の規模の拡大により消防の体制の整備・確立を図るため、二以上の市町村が消防事務(消防団の事務を除く。)を共同して処理することとすること又は市町村が他の市町村に消防事務を委託すること。

<広域化の背景>

○ 小規模な消防本部においては、一般的に財政基盤や人員、施設、装備等の 面で十分でなく、高度な消防サービスの提供に課題がある場合が多い。

<広域化の取組>

- 消防庁では、平成6年以降、市町村の消防の広域化を推進
 - → 消防審議会「市町村の消防の広域化の推進に関する答申」(平成18年)
- ·<u>消防組織法の改正</u>
 - <u>・「市町村の消防の広域化に関する基本指針」(消防庁告示)の制定</u>

<u>(平成18年)</u>

(改正消防組織法)

- ・ 都道府県は広域化対象市町村の組合せ等に関する<u>推進計画</u>を策定、市町村 に対して必要な調整を実施
- ・ 市町村は広域化後の消防本部の運営に関する計画を策定

(基本指針)

- ・ 消防本部の規模は、一般論として大きいほど望ましい。管轄人口の観点から 言えばおおむね30万以上の規模を一つの目標とすることが適当。
- ・ 推進計画策定後5年度以内(平成24年度まで)目途に広域化を実現。
- 〇 消防庁の支援

地方財政措置、セミナーの開催、アドバイザー派遣等の支援策を実施。

広域化実現ブロック数:24(H25.4.1) (807消防本部(H19.4.1)→767消防本部(H25.4.1) ※市町村合併によるものを含む。

- 〇 消防審議会
- 「消防組織法第31条に基づく市町村消防の広域化に関する中間答申」 (平成24年9月)

基本指針の改正(平成25年4月1日公示)

<基本指針改正のポイント>

- 広域化を実現した消防本部においては、住民サービスの向上 等の成果が現れており、<u>広域化は消防防災体制の強化のため</u> には有効な手法。
- また、24年度の期限後も小規模消防本部が多数存在することに加え、東日本大震災の教訓等を踏まえると、<u>広域化の推進</u>による消防防災体制の整備がこれまで以上に必要。
- ただし、24年度末までの広域化の状況を踏まえると、広域化の進捗は地域の実情によって左右される面があるものと考えられることから、今後は、地域の実情を尊重することを基本として、以下のとおりの見直しを行う。

項目	基本指針(改正案)	現行の基本指針	
広域化する際に 目標とする消防 本部の管轄人口 規模	広域化対象市町村の組合せを 検討する際には、30万の規模 目標には必ずしもとらわれず、 これらの地域の事情を十分に 考慮する必要がある。	おおむね30万以上の規模 を一つの目標とすることが 適当	
国・都道府県が 支援の対象とす る地域	(消防広域化重点地域) 広域化対象市町村の組合せを構成する市町村からなる地域 のうち、広域化の取組を先行し て重点的に取り組む必要があるものとして次に該当すると認めるものを都道府県知事が指定、国・都道府県の支援を集中的に実施。 ①今後、十分な消防防災体制が確保できないおそれがある市町村を含む地域 ②広域化の気運が高い地域	(広域化対象市町村) 都道府県が消防の現況、将 来の見通しを勘案し、広域 化を推進する必要があるも のとして推進計画に位置づ ける市町村	
広域化の実現の 期限	平成30年4月1日 (5年程度延長)	平成24年度末	

○消防庁告示第四号

消 防 組 織 法 昭 和 二十二年 法 律 第二百二十六号) 第三十二条第 項 \mathcal{O} 規 定 に 基づ き、 市 町 村 \mathcal{O} 消 防

 \mathcal{O} 広 域 化 に 関 す Ś 基 本 指 針 平 成 + 八 年 消 防 庁告示第三十三号) 0) 部 を 次 \mathcal{O} ように . 改 正 す る

平成二十五年四月一日

消防庁長官 岡崎 浩巳

一の1を次のように改める。

1 市町村の消防の広域化の必要性

消 防 は 災 害 P 事 故 \mathcal{O} 多 様 化 及 び 大 規 模 化 都 市 構 造 \mathcal{O} 複 雑 化、 住 民 = ズ 0) 多 様 化 等 \mathcal{O} 消 防

を 取 n 巻 < 環 境 \mathcal{O} 変 化 に 的 確 に 対 応 Ļ 今 後 と ŧ 住 民 \mathcal{O} 生 命 身 体 及 び 財 産 を 守 る 責 務 を 全 う す

る必要がある。

L カン L な が ら、 小 規 模 な 消 防 本 部 12 お 1 て は、 出 動 体 制、 保 有 す る 消 防 車 両 専 門 要 員 \mathcal{O} 確 保

等 に 限 界 が あ ることや、 組 織 管 理 P 財 政 運 営 面 で \mathcal{O} 厳 L さが 指 摘 さ れ ることが あ る な ٢, 消 防 \mathcal{O}

体 制 とし 7 は 必 でずし ŧ $\dot{+}$ 分で な 1 場 合 が あ る

れ を 克 服 す る た 8) に は 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 12 ょ り、 行 財 政 上 \mathcal{O} 様 々 な ス ケ ル メ IJ ツ 1

を 実 現 す ることが 極 \Diamond 7 有 効 で あ る。 具 体 的 12 は 広 域 化 に ょ 0 て

- 1 災 害 発 生 時 に お け る 初 動 体 制 \mathcal{O} 強 化
- 2 統 的 な 指 揮 \mathcal{O} 下 で \mathcal{O} 効 果 的 な 部 隊 運 用
- 3 本 部 機 能 統 合 等 \mathcal{O} 効 率 化 に ょ る 現 場 活 動 要 員 \mathcal{O} 増 強
- 4 救 急 業 務 Þ 予 防 業 務 \mathcal{O} 高 度 化 及 び 専 門 化
- (5) 財 政 規 模 \mathcal{O} 拡 大 に 伴 う 高 度 な 資 機 材 \mathcal{O} 計 画 的 な 整 備
- 6 消 防 署 所 \mathcal{O} 配 置 B 管 轄 区 域 \mathcal{O} 適 正 化 12 ょ る 現 場 到 着 時 間 \mathcal{O}

等 、 消 防 力 \mathcal{O} 強 化 に ょ る 住 民 サ ピ ス \mathcal{O} 向 上 B 消 防 12 関 す る 行 財 政 運 営 \mathcal{O} 効 率 化 لح 基 盤 \mathcal{O} 強 化 が

短

縮

期待される。

消

模 害 化 防 こう 明 本 を 確 が 部 本 \mathcal{O} L 引 大 + 化 に 部 き上 規 と、 分進 ま たこと \mathcal{O} で 模 数 げ 減 は 化 市 W だ カン る 町 少 لح こと等 L ら、 村 最 多 様 は 7 t 12 多 お 言 7 平 化 を け 等 7 る か 成 内 る 難 六 が \mathcal{O} 0 + 年 容 環 た 1 کے 亚 分 状 広 以 境 し な 域 降、 況 \mathcal{O} 成 て、 三 変 に 議 化 化 論 あ 自 年 と 広 を 並 に 0 + 主 域 た。 的 確 行 的 月 保 化 な 確 L \mathcal{O} す 市 を そこで、 九 12 7 るた 更 対 進 百 町 に め \equiv 応 村 推 す 8 5 + \mathcal{O} <u>址</u> る \mathcal{O} 六 進 れ 消 す 関 成 た 本 た 防 係 + る 8 市 部 \mathcal{O} 者 広 た に 八 町 か 8 広 \mathcal{O} 年 村 5 域 \mathcal{O} 域 議 に 合 化 消 論 平 化 お 併 が 推 成 防 \mathcal{O} \mathcal{O} 1 \mathcal{O} 枠 状 目 + 進 組 7 さ 織 標 組 は 況 八 کے لح れ 法 4 年 な 0) 比 \mathcal{O} 都 兀 て 改 る 創 道 較 月 き た。 設 す 消 正 府 に 及 る 防 لح 県 は び 併 全 本 \mathcal{O} 八 これ 玉 部 せ 役 百 広 \mathcal{O} 割 + \mathcal{O}

災

 \mathcal{O}

域

規

12

基

づ

<

本

指

針

 \mathcal{O}

策定

を

行

つ

た。

地 基 + \Diamond 0 方 5 た 盤 兀 以 とこ 来、 公 年 れ \mathcal{O} 共 度 7 強 ろ 末 き 改 寸 化 で に た 体 を 正 とこ あ が 通 は 後 る。 平 薄 懸 じ \mathcal{O} ろ 成 化 念 消 た で す 住 広 十 防 る、 1 域 八 あ 民 組 サ 化 年 る 織 を 消 兀 法 が 事 防 F, 行 月 12 署 基 実 ス 0 か 本 た 指 づ は \mathcal{O} 5 所 き 更 認 向 消 針 \mathcal{O} に二 各 が 配 上 防 等 本 策 都 置 + 定 替 部 道 れ \mathcal{O} さ え 七 成 に 府 果 本 12 お n 県 部 ょ が 1 た 12 7 当 現 る が お 減 れ は 初 1 部 7 少 \mathcal{O} 7 定 広 地 お L 人 域 域 ŋ 員 8 消 5 で 配 化 広 備 防 n \mathcal{O} \mathcal{O} 消 域 本 実 \mathcal{O} た 効 防 部 現 化 推 率 数 力 に \mathcal{O} 進 伴 化 低 は 期 計 七 下 Ć と 限 画 現 充 と Þ 百 12 象 実 基 消 八 し کے + て づ 防 消 < 本 兀 L 1 部 た 7 防 本 取 لح 体 部 平 組 と 市 部 制 成 が 町 \mathcal{O} な 進 \mathcal{O}

記 本 全 部 体 \mathcal{O} 課 数 的 \mathcal{O} ょ 題 \mathcal{O} に うに、 は が 約 六 依 然 管 割 広 と を 轄 占 L 域 人 7 化 8 克 る 十 L 服 た な 万 ど、 さ 未 消 れ 満 防 広 7 \mathcal{O} 本 部 1 域 小 な 規 に 化 模 お 1 \mathcal{O} 淮 な 1 て 捗 消 は は 防 ま 本 広 だ 部 + 域 分 以 化 と 下 \mathcal{O} は 意 1 小 図 す え 規 ず 模 る 消 成 果 小 防 が 規 本 部 現 模 れ 消 کے 防 7 は 本 1 う <u>。</u> 1 部 る が 抱 ŧ が え \mathcal{O} 全 る \mathcal{O} 消 前 防

村

と

 \mathcal{O}

関

係

 \mathcal{O}

希

と

0

た

 \Diamond

5

な

1

防 少 \mathcal{O} 傾 を を 各 向 担 方 通 消 が U 今 で 0 防 7 た 後 本 財 1 部 Ł 日 続 る 政 \mathcal{O} 本 管 消 < 面 \mathcal{O} 場 防 \mathcal{O} 轄 総 寸 制 合 人 人 員 約 \Box は \Box \mathcal{O} £ は ŧ 将 担 よ 減 少 来 平 1 1) 手 成 厳 L 人 不 \Box 十 L < 足 消 が 七 防 減 年 \mathcal{O} な 間 る 本 少 に 題 す 戦 部 £ t ること \mathcal{O} \mathcal{O} 後 更に لح 小 初 考 規 \Diamond 懸 が え 模 7 念 予 減 5 化 さ 想 n が 少 に れ ょ さ る る 転 1) れ U 状 ま 進 7 況 た む 1 に لح る。 あ 消 同 れ る。 ک ま 防 時 に、 で れ 本 部 12 \mathcal{O} 0 실 生 長 ょ よう り 期 産 ŧ 年 __ 的 な に 齢 般 な 的 少 人 地 人 子 域 12 \Box П 動 現 \mathcal{O} \mathcal{O} 化 態 消 減 在 \mathcal{O}

状 災 等 況 に で を ょ \mathcal{O} 踏 教 る まえ 訓 影 B 響 ると、 は 類 消 例 を 防 玉 見 本 部 な 都 1 \mathcal{O} 大 規 道 府 模 規 県 模 が 及 災 小 さ び 害 市 等 7 町 \mathcal{O} ほ 村 発 ど 深 生、 が 刻 体 ま で とな た、 あ ると考え 今 後 0 た 広 \mathcal{O} 域 5 災 化 害 れ \mathcal{O} IJ 推 ス 加 え 進 ク て、 に \mathcal{O} ょ 高 る ま 近 小 年 ŋ 規 t \mathcal{O} 模 指 東 消 摘 日 防 さ 本 本 大 れ 部 震 る

一の2を次のように改める。

 \mathcal{O}

体

制

強

化

が

れ

ま

で

以

上

に

必

要と

な

0

7

1

る。

2 消 防 組 織 法 12 お け る 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 \mathcal{O} 基 本 的 な 考 え 方

消 防 組 織 法 で は 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 12 関 し、 次 \mathcal{O} 事 項 に 0 1 て 定め て 7

る。

- 1 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 \mathcal{O} 理 念 及 び 定 義
- 2 消 防 庁 長 官 に ょ る 基 本 指 針 \mathcal{O} 策 定
- 3 都 道 府 県 に ょ る 推 進 計 画 \mathcal{O} 策 定 及 てバ 都 道 府 県 知 事 \mathcal{O} 関 与 築
- 4 広 域 化 対 象 市 町 村 に ょ る 広 域 消 防 運 営 計 画 \mathcal{O} 作 成
- (5) 玉 \mathcal{O} 援 助 及 び 地 方 債 \mathcal{O} 特 别 \mathcal{O} 配 慮

な 5 \mathcal{O} 市 な 町 1 لح 村 さ \mathcal{O} 消 れ 7 防 1 \mathcal{O} 広 る た 域 め、 化 は 広 域 消 化 防 に \mathcal{O} ょ 体 0 制 て \mathcal{O} 整 消 備 防 本 及 部 び 確 \mathcal{O} 対 立 を 応 図ることを旨とし 力 が 低 下 す るようなこと て、 行 は わ な あ け 0 7 れ

は ば な 5 な 1

ま た、 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 とは 以 上 \mathcal{O} 市 町 村 が 消 防 事 務 消 防 寸 \mathcal{O} 事 務 を除 を共 同

とと れ L 7 て 加 な 処 え 1 て、 る。 る 理 が す ることとすること 広 L 関 域 た が 係 化 に 市 0 て、 町 0 1 村 て 広 間 域 に は 又 化 お は 1 \mathcal{O} 7 部 対 市 そ 事 象 町 務 村 れ は ぞ 組 が 合 他 れ 1 等 \mathcal{O} わ \mathcal{O} 方 市 \mathcal{O} ゆ 式 共 る 町 常 \mathcal{O} 同 村 備 に 利 処 消 点 理 消 又 防 防 及 は 事 び で 間 事 あ 務 題 務 を n 点 委 委 を 託 託 消 + す \mathcal{O} 防 分 方 ることを 寸 式 に は 比 に そ 較 ょ \mathcal{O} 考 n 対 V う 量 行 象 لح \mathcal{O} わ で 定 上 は れ な 義 る そ 1 さ

 \mathcal{O}

地

域

に

最

ŧ

適

L

た

方

式

を

選

択

す

る

لح

が

必

要

で

あ

る。

応 消 IJ 防 に 域 が 化 対 広 U 重 防 ツ 要 域 + を た L 1 \mathcal{O} で 化 実 情 7 に 3 行 ピ 推 現 報 あ 中 0 進 る う ス 提 1 L こと た 供 都 \mathcal{O} 7 ア 玉 K 道 提 消 を は バ 防 行 か 府 供 玉 <u>ら</u>」 県 を [] を 1 本 民 受 ザ 部 が \mathcal{O} に、 け 理 \mathcal{O} に 広 本 る 指 幹 改 域 解 \mathcal{O} 部 を 活 玉 8 化 針 理 民、 + \mathcal{O} 用 職 解 員 分 等 必 広 等 要 12 12 \mathcal{O} 3 を ょ で 域 深 を 3 性 消 踏 ŋ \mathcal{O} 化 \Diamond 取 防 (3)ま メ に る 組 広 庁 中 IJ 直 た え 接 域 に ツ \Diamond に 登 12 取 化 \vdash 玉 改 対 録 B n に を は め 関 さ 全 組 L _ す れ 7 玉 市 む 12 る た 逐 改 的 市 町 \mathcal{O} 者 協 め、 次 な 町 村 3 を 紹 状 村 議 \mathcal{O} 0 市 介 況 及 消 (4)等 町 び \mathcal{O} 12 又 防 中 改 村 は に 指 3 \mathcal{O} 等 情 導 広 8 0 \mathcal{O} 広 に 報 (2)1 域 助 域 7 言 中 派 提 化 化 遣 B \mathcal{O} 供 を に 広 3 L 十 連 推 L 関 __ 分 絡 \mathcal{O} 進 域 す す (5)を に 助 調 化 Ź 言 理 整 る を \mathcal{O} 協 等 削 \mathcal{O} 等 た 必 解 議 を 要 = す を \Diamond 性 行 る 市 に を う ズ 町 は Þ 広 消 と 村 \mathcal{O} X

3 を \mathcal{O} 4 と \mathcal{O} 2 \mathcal{O} 次 に 次 \mathcal{O} ょ う に 加 え る

3

平

成

+

五

年

度

以

降

 \mathcal{O}

市

町

村

 \mathcal{O}

消

防

 \mathcal{O}

広

域

化

 \mathcal{O}

推

淮

 \mathcal{O}

方

向

性

平 成 + 八 年 \mathcal{O} 消 防 組 織 法 \mathcal{O} 改 正 後 平 成 + 兀 年 度 末 に 至 る ま で \mathcal{O} 広 域 化 \mathcal{O} 状 況 を 踏 まえると

期 規 模 広 待 広 今 域 等 域 に 後 関 化 化 を 踏 す に 広 \mathcal{O} 関 る ま 域 進 え す 捗 化 目 る 標 を 状 7 を 推 況 重 取 引 点 組 進 は を き す 化 地 行 続 す る 域 き考 る う に \mathcal{O} 対 当 実 枠 象 慮 情 た 組 す 4 地 0 に る を 域 7 ょ 設 を、 لح 0 は 7 け 同 そ 時 広 左 た 上 12 域 右 れ さ で、 ぞ 化 地 れ れ 域 対 地 \mathcal{O} \mathcal{O} 象 る 事 域 地 市 面 情 \mathcal{O} 域 町 が 実 に あ Ł 村 情 る お 十 \mathcal{O} を 分 t け 組 勘 踏 る 合 \mathcal{O} 案す と考 ま 広 せ え を 域 ることとす 定 え た 化 き 5 \mathcal{O} 8 る れ 8 必 要 場 る 細 合 性 か P る は $\sum_{}$ 11 0 広 取 こと 域 組 あ 広 化 を 域 わ カ 行 せ 化 \sim う \mathcal{O} 7 \mathcal{O} 5

こととする

亚 化 さ う 務 関 \mathcal{O} に 成 れ 係 搬 負 そ \mathcal{O} る。 市 送 推 担 \mathcal{O} 1 + に 町 で 消 及 際 進 と 防 び 年 に 対 村 示 り 受 及 す 取 間 さ \mathcal{O} 地 る 分 び 域 入 り わ \mathcal{O} れ 支 必 た 平 組 け 野 れ \mathcal{O} む 要 現 成 実 援 12 \mathcal{O} 情 等 関 な 下 お 実 لح + 調 を 係 け 施 に \mathcal{O} が 熟 市 整 消 る 基 0 都 求 町 防 準 年 知 1 情 て L \Diamond を 道 に \mathcal{O} 村 た広 関 間 5 報 取 府 消 県 れ \mathcal{O} \mathcal{O} Ŋ す 防 ょ 提 巻 域 る n 連 \mathcal{O} る 組 積 絡 供 < 役 事 織 的 そ 状 調 割 務 法 な 極 整 況 地 が 的 \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} 都 改 方 を に は 他 重 そ t 踏 要 道 公 \mathcal{O} 正 لح 共 \mathcal{O} 必 ま 性 府 に ょ 要 え 役 県 寸 は ょ な 割 る 体 Ŋ 高 ŋ \mathcal{O} 支 <u>ځ</u> で を ま 事 果 援 緊 広 務 あ 0 を る た 急 域 玉 7 に 追 消 都 し、 化 行 \mathcal{O} 11 う 12 る 加 防 道 取 係 役 さ 援 府 自 組 る 割 と 広 県 主 れ 助 域 市 た 隊 \mathcal{O} 的 を あ $\sum_{}$ 役 果 に な 町 わ 化 لح た 関 市 村 せ に 割 す す 町 \mathcal{O} 0 カ が う と る 村 財 5 特 都 1 政 道 て ŧ 事 に \mathcal{O} が 府 重 消 負 ŧ 明 務 更 県 لح 5 要 防 担 で 12 又 に 本 傷 \mathcal{O} か な 広 は 期 は 指 病 あ る。 域 事 待 針 ょ 者

中 れ ま で \mathcal{O} 実 績 を 踏 ま え た 上で、 今 後 着 実 に 推 進 す る た め に は 当 面 定 0 期 間 を 区 切 0

け て 大 ると集 規 模 を 災 地 害 中 的 等 域 な が に 広 発 お 域 け 生 す 化 る 広 る \mathcal{O} 域 取 懸 組 念 化 を に が 阻 高 0 害 1 ま す 7 0 る 7 \mathcal{O} お 合 お そ り、 意 れ 形 が 広 成 あ 域 に ることを 化 は 相 \mathcal{O} 当 取 組 \mathcal{O} 踏 時 が 間 まえると、 急 を が 要 れ す ることや る 五. t 年 \mathcal{O} と考え 程 過 度後 度 に を 5 長 期 期 れ る 限 \mathcal{O} とし 期 限 方 て で、 を 設

(1) 都道府県の推進計画等

に

改

め、

 \mathcal{O}

(1)

を

次

 \mathcal{O}

ょ

j

に

改

 \Diamond

る

都 道 府 県 \mathcal{O} 実 情 12 照 5 Ļ 必 要 に 応 じ 7 推 進 計 画 \mathcal{O} 変 更 又 は 策 定 を行 うよう努め ること。

な お、 本 指 針 3 に 定 8) る 消 防 広 域 化 重 点 地 域 \mathcal{O} 指 定 に 0 7 て は、 速 P か に 行うこと。

を 本 \mathcal{O} (2)指 中 針 が 定 0) 8 実 5 現 \mathcal{O} れ 期 た 当 限 _ 初 を \mathcal{O} 削 期 り、 限 で あ 推 る平 進 計 ·成二十 画 策定 兀 後 年 五. 度 一年 度以: 末 か 5 内 五. 平 年 程 成二十 度 後 \mathcal{O} · 四 年 平 成三十年 度まで) 兀 を目 月 途 日 に ま

0 1 0 (2) \mathcal{O} 2 中 少 子 化 \mathcal{O} 進 展 に ょ る を 削 り、 三 \mathcal{O} 1 \mathcal{O} (3)を 次 0 ように 改 8) る。

③ 広域化対象市町村の組合せ

で

に

に

改

 \Diamond

る

本指針三、2に基づき定めること。

な お 広 域 化 対 象 市 町 村 \mathcal{O} 組 合 せ 12 基 づ < 本 指 針 三、 3 に 定 \Diamond る 消 防 広 域 化 重 点 地 域 \mathcal{O} 指 定

等 を 行 う 場 合 に 0 1 7 は 本 指 針 三、 3 に ょ ること。

三の 1 \mathcal{O} (4)中 本 指 針 = 3 を 本 指 針 4 に 改 め、 三 \mathcal{O} 2 \mathcal{O} (1)中 か λ が み る を 鑑 4

る 策 例 域 象 え 化 ŧ 市 に、 考 ば を 町 え 着 村 当 5 実 \mathcal{O} た 該 12 組 れ だ る 推 合 組 . _ _ 合 進 せ す 12 を せ を る 検 改 \mathcal{O} لح 広 討 \Diamond L す 域 1 か 三 う る 化 を 観 際 \mathcal{O} な 段 3 点 に が 階 を は か . ら _ ら、 的 に \mathcal{O} 上 に、 ک 実 記 現 れ \mathcal{O} 「これ す 5 規 る 模 \mathcal{O} た 地 目 5 \mathcal{O} 8 標 に 域 に \mathcal{O} に 対 段 事 \mathcal{O} は す 次 階 情 必 る ず に を + لح + · 分 次 L 分 Ł \mathcal{O} \mathcal{O} な に とら 考 組 考 合 慮 慮す 12 せ わ が を 加 n 必 ず、 え る あ 要 る。 で 必 わ せ あ 要 小 る て が 規 定 あ 模 8 る を 消 る 防 لح そ 本 広 \ \ 部 \mathcal{O} 域 う方 際 \mathcal{O} 化 広 対

3 消 防 広 域 化 重 点 地 域 \mathcal{O} 指 定 筡

4

と

2

ょ

う

(1)消 防 広 域 化 重 点 地 域 \mathcal{O} 指 定 \mathcal{O} 趣 냠

広 域 都 域 道 化 本 指 化 対 府 重 県 針 象 市 に 点 地 町 お 域 村 3 け \mathcal{O} る \mathcal{O} 以 組 措 趣 旨 下 合 置 を せ を 踏 重 に 他 点 ま お \mathcal{O} え、 広 地 け 域」 る 域 本 自 化 指 と 対 主 1 的 象 針 う。 <u>)</u> な 市 市 町 町 村 4 \mathcal{O} に 村 ょ 枠 1) 撂 \mathcal{O} 組 消 ŧ げ 3 る 防 先 を 玉 \mathcal{O} 行 設 広 \mathcal{O} け 7 施 域 る 策 化 集 中 及 を 着 的 び 本 に 実 実 指 に 針 推 施 す 進 す ることに る 4 た 12 8 撂 げ ょ 消 る り 広 各 防

(2)都 道 府 県 知 事 に ょ る 重 点 地 域 \mathcal{O} 指 定 及 び 公 表 等

す 5 ると な 都 る 道 当 地 府 該 県 域 都 \mathcal{O} 知 う 事 道 府 ち は 県 広 広 知 事 域 域 化 が 化 認 対 \mathcal{O} 象 \Diamond 取 組 る 市 を 町 ŧ 先 村 \mathcal{O} 行 を \mathcal{O} そ 重 L れ 点 7 ぞ 地 重 点 域 れ لح \mathcal{O} 的 組 に L 合 7 取 指 せ り を 定 組 構 す む 成 る 必 こと 要 す る が が あ 市 で る 町 き 村 Ł \mathcal{O} \mathcal{O} と 全 部 L 7 又 次 は に 該 部 当 カ

1 今後、 + 分 な 消 防 防 災 体 制 が 確 保 で き な 1 お そ れ が あ る 市 町 村 を 含 む 地 域

② 広域化の気運が高い地域

定 し 広 域 ようとす 化 対 象 る 市 地 町 域 村 が \mathcal{O} 広 域化 \mathcal{O} 組 対 合せ 象 市 を越える地 町 村 0) 0 域を重点 組 合 せ 地 0) 全部 域に指定 又は しようとするときは、 部 を構 成するよう、 当 該 事 前 指 又

は事後に推進計画の変更を行うものとする。

な お 当 該 指 定 を 行 0 たときは そ の旨を、 当該 重 点 地 域に 対す る都 道 府 県 \mathcal{O} 支 援 \mathcal{O} 内 容 ح

もに公表するものとする。

③ 関係市町村の意見の聴取等

重 点 地 域 \mathcal{O} 指 定に当た つて は、 都道府県知 事は、 あ 5 か じめ 関 係 市 町村 の意見を聴くも の と

する。

指 た場合 また、 定等に に 努 お 重 8) 点 1 る 地 7 ŧ 域に は のとする。 指 都 道 定 され 府 県 た市 知 事 町 は 村 当 該 以 意 外 見 \mathcal{O} 等 市 を 町 尊 村 重 カゝ 5 L 重 当 点 該 地 市 域 町 \mathcal{O} 村 指 を 定 対 を 求 象とする重 め る 意 見 点 等 地 が 域 あ

 \mathcal{O}

0

(4) 重点地域の指定の変更

(2)及 び (3)は 重 点 地 域 0) 指 定 0 変更に つ () て準 用す る。

附則

この告示は、公布の日から施行する。

等、消防力の強化による住民サービスの向上や消防に到着時間の短縮の消防署所の配置や管轄区域の適正化による現場を	を請 財政規模の拡大に伴う高度な資機材の計画的・ 財政規模の拡大に伴う高度な資機材の計画的・ 救急業務や予防業務の高度化及び専門化増強	本部幾能充合等の効率とこよる見場舌動要員統一的な指揮の下での効果的な部隊運用 災害発生時における初動体制の強化	とが極めて有効である。具体的こは、広域化こより、行財政上の様々なスケールメリットを実現すこれを克服するためには、市町村の消防の広域化分でない場合がある。	れることがあるなど、消防の体制としては必ずしることや、組織管理や財政運営面での厳しさが指制、保有する消防車両、専門要員の確保等に限界しかしながら、小規模な消防本部においては、出及び財産を守る責務を全うする必要がある。	変化に的確に対応し、今後とも住雑化、住民ニーズの多様化及び大規材の消防の広域化の必要性材の消防の広域化の必要性対の消防の広域化の必要性がの消防の広域化の必要性がある。	改正案
等、消防力の強化による住民サービスの向上や消防に到着時間の短縮(⑥ 消防署所の配置や管轄区域の適正化による現場を創作	を請している。とのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	本部幾能統合等の効率とこよる見場舌動要員統一的な指揮の下での効果的な部隊運用災害発生時における初動体制の強化 これんじょ	とが極めて有効である。具体的こは、広域化こより、行財政上の様々なスケールメリットを実現すこれを克服するためには、市町村の消防の広域化分でない場合がある。	れることがあるなど、消防の体制としては必ずしることや、組織管理や財政運営面での厳しさが指制、保有する消防車両、専門要員の確保等に限界しかしながら、小規模な消防本部においては、出及び財産を守る責務を全うする必要がある。	変化に的確に対応し、今後とも住雑化、住民ニーズの多様化及び大規材の消防の広域化の必要性材の消防の広域化の必要性対の消防の広域化の必要性がある。	現

 \bigcirc

市 町

町村の

の消防

防の広域化

喚化に関する基★ 化に関する基本#

本指針

針の一部で

成十八年消防を改正する件

庁 告 新

口示第三十三号) 利旧対照条文

(傍線部分は改正部

分)

す る 行 財 政 運 営 \mathcal{O} 効 率 化 لح 基 盤 \mathcal{O} 強 化 が 期 待 さ

n

況 る い る た 消 る す に 消 0 0 0 は た う 防 \Diamond 大 る 役 あ 比 が 平 防 لح 組 に 規 た 割 最 0 較 成 \mathcal{O} L た。 等 広 模 広 織 \Diamond \mathcal{O} す 広 + t の明 を 域 域 域 法 化 る 八 多 そ لح \mathcal{O} 内 化 関 لح 化 年 か 化 確 改 容 \mathcal{O} 多 係 化 لح 兀 0 が か 者 で 月 と 目 様 لح た 推 正 広 並 5 及 L 平 進 標 化 \mathcal{O} 域 行 に て、 び 等 議 平 化 さ 平 لح 市 は 成 L \equiv な \mathcal{O} 論 町 成 が て 八 れ 成 れ 広 る 環 の村十 + 百年 て 六 進 に 域 消境枠に 八 ++ き 年 分 \Diamond た 基 年 進 化防 \mathcal{O} 組お 6 月 以 づ を 変 け 本 \mathcal{O} 降 本 4 に W れ < 更 だ 部 九 部 化 \mathcal{O} る お た 全 本 に \mathcal{O} に 創 + لح 市 に 百 玉 自 1 指推規的設分 \equiv て は 町 ま \mathcal{O} 主 針 進 模 とな で十 消的 確 は 言 村 のす を に 併議 減六防な 合 策る 引対せ 論 都 難 併 少本本 市 定た き 応 を 道 11 \mathcal{O} L 部部町 をめ上 す 災確 府 状 状 てかの村

域

八

七八のたい لح 体 年 薄 消 百 実 て 以 地 公 化 域 共 が 制 防 八 兀 現 定 来 ろ で 寸 現 十 月 \mathcal{O} \Diamond لح \mathcal{O} 本 期 で い \mathcal{O} 体 れ 基 部 四か 5 改 盤 あれ 0 消 が て に 本 5 限 正 た 防 懸 お 0) 部 更 لح る お た 後 事 力 念 ŋ 強 لح に し が 推 \mathcal{O} 1 低 化 て な 消 実 す 7 進 2 十レ は 下 る 広 を は 本 計 防 認 域 た P 七 た 指 組 通 画 本 平 針 じ کے に 8 消 消 化 織 6 防 防 に 部成が 基 た 員 法 署 ろが 防れ 伴 住 策 本 配 づ に で う 民 定 な 部 所 備 減十 基 لح 現 サ あ 少 兀 さ 取 \mathcal{O} \mathcal{O} づ 11 。市 る。 配 象 効 L 年 れ 組 き 町 置 ピ 率 度 た 各 が 当 広 替 L ス 化 消末 進 都 村 0 لح 域防に لح え 初 8 道 7 \mathcal{O} に 向 充 化 本はの 5 府 実を 部平 広 関 部 上 県 ょ れ 係 る 0 等 行 数 成 域 て に 地 の消 つは き お \mathcal{O}

轄 意 \mathcal{O}

人

П

十

万 成

未 果 広

小

規 て た

模

な

消

防

本

部

以

下

小 に 広

図よ

るに

す

満が域

の現化

れ

11

る

t 部

全

的

規は域

のに

のお

体は

1

7

L

本

は消

う

関 る す る 行 財 政 渾 営 0 効 率 化 لح 基 盤 \mathcal{O} 強 化 が 期 待 さ れ

年 ま化 カ \mathcal{O} \mathcal{O} う 広 が 兀 0 進 + 月 た 展 域 L に 平 と 化 た 分 ŧ に は が 成 \equiv لح 進 八 相推 年 ま進 カ 百 W . أخ だ + + 0 さ て لح 月 れ は 本 0) て 言 部 九 全 き n 玉 た ま い に 百 لح で 難 ま \mathcal{O} +で 消 Ł V 状 防 ろ 六 自 減 況 本本 で 主 少 に 部 あ 的 L 部 ŋ あ て カコ \mathcal{O} な る。 数 市 6 11 る は市町 平 町 村 が 最 村 \mathcal{O} 成 十も合消

多|併|防|

自制 いれ 的口少 る に に 主 る が \mathcal{O} 的 た 現 整 消 減 転 \mathcal{O} 備 ょ 防 さ 在 少 ľ う 寸 5 す て 市 及 \mathcal{O} 日 に 町 な 員 各 る 本 び お 現 村 確 \mathcal{O} 消 ŋ \mathcal{O} لح <u>\f}</u> 状 担消 防 \mathcal{O} 総 消 を に 11 防 本 が 今 人 手 予 防 义 か 本 部 後 П \mathcal{O} る 不 部 \mathcal{O} 想 ŧ は W 広 た が 足 لح 管 さ 少 لح 亚 域 8 4 \mathcal{O} 轄れ 子 問 化 に る t 人 T 化 成 は کے 題 \mathcal{O} + を に 口 1 る進 Ł 地 推 £ 七 今 進 市懸域 減 年 行 町 念 す 後 \mathcal{O} 少 に に ること لح さ 消 す ょ 戦 村 れ ŧ れ防 る に ŋ 後 \mathcal{O} るを切り 消 と ょ ょ 初 考 が り 防 担 ŋ 将 8 必 0 え 来 7 0 てら般 要層体 減

で

消 消 る 防 な 防 い本 F 本 。部 部 が 広 抱 域 لح え 化 1 う る \mathcal{O} 進 前 捗 記 はが \mathcal{O} 課 ま 全 だ消 題 +が 防 本 依 分 然 کے 部 لح は数 L 0 い え 約 て ず六 克 服 割 さ 小 を れ 規 占

とにも地し なる都 ₽ 考 く生も ょ 更 域 る つ小 例 続 少 て 方な 規府 ク を え る に のな 産 減 < に い模県 \mathcal{O} 見 ら影懸消る年 小 場 転 で る消及 高なれ響念 合 じ 防も齢し れ 。防 び はさ まい を の人 に は 日 市 ŋ 大 加 消 れ 担 と 口消 ょ 本 本 部 町 t 規 え防る 0 考 \mathcal{O} 防 ŋ 将 れの て 模 本状 え 減本 の村 指 7 来 ま総 体が 災 部 況 いら少 部 摘 般 人 で 人 害 に るれ 制 さ 近 \mathcal{O} を 的 の日 \mathcal{O} П 年規あ消る通 等 に 強体れ 小 が 長は 化 の模 る防 U 規 現 期 る \mathcal{O} 減 がな 状 発 東が 団また 模 在 少 的平 員た財化 況 生 0 日小 \mathcal{O} す な 成 れた を 本 さ \mathcal{O} \mathcal{O} 政が 各 少 + る 踏 大 ょ 子 広 ま 担消面 ま 11 ょ 消 七 で 震 う 域 ま た ほ い 防 の ŋ 防 لح 化 年 化 ど 災 な 手本制進 以 え 本 が \mathcal{O} に 上 る 今 で深人 不部約む 傾 戦 \mathcal{O} 部 予 に 推 後 の刻口足と لح \mathcal{O} 想 向 後 ŧ と 教 で動 同 管 必 進 \mathcal{O} ょ さ が 初 \mathcal{O} 問も 要 に 国 災 訓あ態 ŋ 時 轄 れ 今 8 ょ 害 やる等 題 後

2 な 織 法 に お け る 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 \mathcal{O} 基 本

的

2

事 ③ ② ① 項 消 考 消 に防え防 に官消めは よに防て市 るよのい町 推る広る村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 に 関 L 次 \mathcal{O}

進基域 計 本 化 画指の の針理 策の念 定策及 及定び 定 義

広の都消市つ組方組 域関道防町い織 化与府庁村て法 対等県長の定で び 都 道 府 県 知

4 成 象 市 町 村 に ょ る 広 域 消 防 渾 営 計 画 \mathcal{O} 作

> 事 な ③ ② ① 項 消 考 消 に防え防 広の都消市つ組方組 織 法 に お け る 市 \mathcal{O} 町 消 村 防 \mathcal{O} \mathcal{O} 消 広 防 域 \mathcal{O} 広 化 に 域 関 化

> > \mathcal{O}

基

本

的

L

次

0

に官消めは よに防て市 るよのい町 推る広る村 進基域 計 本 化 画指の の針理 策の念 定策及 及定び 定 義

事 域関道防町い織 化与府庁村て法 対等県長の定で てド 都 道 府

成

(4)

象

市

町

村

に ょ

る

広

域

消

防

渾

営

計

画

 \mathcal{O}

作

県

知

- 3 -

がとび さ確こ⑤ れ立の を市国 7 と務市るい図町の る る村援 うた 防のなめ と消及 ک を防び い又の防と広旨の地 と広方 わと市務広あ化し域債 っに て化の てよ `は特 さがくとはっ行、別 はなてわ消の ら消な防配 防い市を二な防けの慮 部ば制 のなの 対ら整 応な備

力い及

応な備

力い及

団て務すが をる消ま低 こ防た下と事、す そ広委 の域託 対化す るす ○ 町よ 広象の る消村 ۲ で対 は象 と と団消 になはを つい, 。いうは事のは域 ゆ定町を域 る義村除化 常 備れ他 ての 消 でる町共以い本れ体 。村 同 上 あ りしにしの `た消 て市 消が防処町 防つ事理村

関 理 加は を 係 選 又 え 択 + 市は 7 す 分 町事 ること に 村務 間委 比 域 較 に 託 化 が 考お \mathcal{O} 量い 方 必 要 7 \mathcal{O} 式 11 そ で 上 に T ょ あ れ は そ る ぞ り \mathcal{O} n 行 地 \mathcal{O} わ 域方 れ 事 式 に る 務 最 \mathcal{O} 組 も利 と 合 適点と 等 及 な L \mathcal{O} た \mathcal{U} る 共 方 問 が 同

3 成 性 + 五. 年 度 以 降 \mathcal{O} 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 \mathcal{O} 推 進

る 場 る わ に 平方 そ 実 捗 لح \mathcal{O} 情 を せ 合 に 考 状 至 成 向 れ 際 踏の 7 同 当 況 る十 を は え ま八 踏 ま 地 時 た Ś は え 広 地 で年 地ま 域 広 に 0 れ る。 7 て 域 え に 域 地 域 域 \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} た 重 お 化 域 化 は \mathcal{O} 広 消 き 点 実 域 防 実 け に \mathcal{O} 0 規 情 め化 関 事 広 \mathcal{O} 情化組 る 細 広 域 に す す 情 模 を \mathcal{O} 織 熟 かる 域 に لح る Ł 化 よ状 法 い枠 化 + 関 つ況 知 取 対 カ \mathcal{O} ら、 取組の 組 分 す 象 7 改 L を る た 組 勘 市 左 踏 4 必 を TF. 広 を を 要 行 案 目 町 右 ま え 行 設 す 後、 域 性 標 村 さ う る平 的 う け P 対 る を \mathcal{O} れ 引 た 広 象 広 と な 組 る 成 と上 地 域 地 لح き 合 域 面 لح 方 で化 域 続 せ 化 が 広十 す す き 公 を を を あ域 兀 る る 考 定 共 地 \mathcal{O} 推 る 化 年 。 域 期 慮 め進 そ の度

> がとび 団て務すが をる消ま低さ確こ⑤ 防た下れ立の そ広委 の域託と事 す てを市国 対化すと務市るい図町の のるす ○ 町よ るる村援 消村うた る 対 の助 象と こ防のなめと消及 と団消こ なはを を防び い又の防と広旨の地 。いうは事のは域と広方 わと市務広あ化し域債 定町を域っにて化の 義村除化てよ る さがくとはっ行れても 常 はなてわ消の れ他 $\overline{}$ ての ら消な防配 い市を二な防けの慮 でる町共以い本れ体 。村 同 上 部ば制 りしにしの のなの た消て市 対ら整

> > 消が防処町

防っ事理村

新 設

な 支 府県 こと 施 及 係 係 防 わ で 村 援 カコ 基 る け 市 踏 \mathcal{O} 援 び あ 本 . ら て、 平 準 る \mathcal{O} 市 を 町 ま 指 役 助 町関行村 消 割 ŧ に 隊 成 都 え 針 明関に 防 よ村係 う 間 る 道 \mathcal{O} と ŋ 市 役 関 + \mathcal{O} \mathcal{O} 0) 重 5 す 府 広 積 財 町 割 必 要 か る す 県 1 なよ 域 極 政 村 性 事 を 要 る 年 0 玉 で 的 負間果 務 役 化 な は 事 \mathcal{O} 示 \mathcal{O} うに に 担の た 調 さ 高 が 務 消 割 \mathcal{O} 取 組 推 そ 又 連 す 整 ま 都 کے 防 れ が 道傷 進 \mathcal{O} は絡 た 組 特 0 役 لح 現 て消府病 に に 事 調 情 あ 織 取割 整 県 務 が 報 下 防 者 法 重 わ 1 ŋ を 負 は 更 \mathcal{O} せ る \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} 要 \mathcal{O} \mathcal{O} 組 果 事搬改 で 担 分 ₽ に 提 消 と 期 よ 待 務送に及 た に 野 む 供 都 防 広 正 あ し、 そ 域 に る 対 道 を に لح す り さ 0) 府 化 お追び ょ 取 が自る にけ加受 n 他 県 ŋ り 平 され 支 る。 る 入 求 主 広 に 成 0) 巻 \sim 援 域 < 都 れ \Diamond 的 必 は 11 等 化 要 状 +

4 る 国 めに のお 施け 策る 自 主 的 な 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 を 推 進 す

(1) る防 の本た 広 指 域針 化 を 推 3 進 を す踏 る ま え、、 た め 玉 次は \mathcal{O} よ自 う主 な的 施な 策市 を町 講村 ずの 消

略

(2)報 及 び 普 及

的てむサ 市 な 行 市 町 状 う 町 ピ 村 況都村ス 等 道及 \mathcal{O} 消 に 府び提 防 0 県 指 供 \mathcal{O} を受 が導 広 広 助 て 域 域 言 け 化 P る 化 十 を の連国 分 推 必絡民 に 進 理 要 調 す 解 性整 広 る 等 域 す た ること メを 化 8 IJ 市 に に 町 ツ 直 は ト村接 が B に 重 取 消 対 全 り 防 で国し組

> る 国 に `のお 自 主 的 な 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 を 推

3

8 、国た 次はめ \mathcal{O} よ自施け う主策る な的 施な 策市 を町 講村 ずの る消 防 \mathcal{O} 広 域 化 を 推 進 す る た

(2)(1)取 る 組消消 広 報 を防防 及 支 庁 広 援に域 び す、 普 化 及 る都推 啓 た道進 め府本 発 の県部 消及の 防び設 広市置 域町 化村 推に 進お 本け 部る を広 設 域 置化

すの

す適を 当 十 る 広 広な分 域 報広に 化 及 報 深 \mathcal{O} び媒め 必 普 体 る 要 をためや 及 啓 用 発 メ オること を 行 らッ う ゆト に に機つ よ会い りを 7 捉 広え国域、民 化まの にた理 関 解

進

す

報広あ 普体と ら う。 こゆとる よ会 りを 、捉 広え 域 ` 化ま にた 関 、 す適 る当 広な

図行 、事 広相るい都例広都及報る 、域道び媒 道 関府実化府 係県際の県及をか 者及に推及啓活ら にび広進び発用 お市域に市 け町化関町行る る村をす村 広の行るに 域二 う制対 際度す 化1 にズ る \mathcal{O} 関に 留広情 意域報 す応 るじ 事化提 取た 項を供 組情 等 行 の報につ 促提つた 進供 い先

(4)実の

削応処化消に 除じ方に防 登 る策関広 録 域 談 等 す域 さ化体 広る化 れを制 域協推 た 化議進 者 現 確 にをアをし保 すめバ 町 消 実 る るイ 村防 個 にザ 等本 別当门 に部 具たの 派の 体っ活遣 幹 のて用し部相の等、職 相の等 職 談諸に助員 に課 よ言等 積題り等で極へ、を消 的の広行防 に対域う庁

> (3)、事 図 供 的の広相るし都例広都 。、道 `域道 関府実化府 係県際の県 者及に推及 にび広進び お市域に市 け町化関町 る村をす村 広に行るに 域対う制対 化 しに て 際度す ` る \mathcal{O} 関逐 留広情 す次

意 域 報

項を供

等 行

にっ

った

い先

を提て進

る紹事化提

理介

解又

のは

促情

進 報

ををて進

(4)

に対域談 応処化体じ方に制 る策関の。等す確 広る保 域協充 化議実 にを 関進 すめ るる 個に 別 当 具た 体っ のて 相の 談諸 に課 積 題

(5)都財 政 措

う| 等| 防| う| 域| 対| は| る| の| 第| 措| う| 関| 化 象 同 Ł た 運 組 置 す 営 対 市 項 \mathcal{O} 合 +を \Diamond る 次 0 道 象 若 のい計 町 \mathcal{O} 七講に で 広 府 号) て 村地 広 ず 必 域 財 画 対市 L 県 < る 政 を 町 方 域 要 化 L \mathcal{O} に 第ほ と対 措 財達 村 加 公 化 は 対 共 置 政 成 入 広 を カコ な象 し 以 す を 運 す 当 寸 域 行 百 る 市 て る 八地経 講 営 る 該 下 体 化 0 町 ŧ ず た 広 0) を た +方 費 村 広 四自に る 支 域 広 組 行 広 域 80 \mathcal{O} 。障 に 若 域 条治つ \mathcal{O} 化 域 合 0 消 た を 行 対 化 L で 化 第法い 情 防 生 < 広 広 Š 象 対 対 報 運 事市 ず 象 は 域 域 象項昭所提 営 る 業町 市 広 和要供計 化 化 市 \mathcal{O} に 村町 域 を 対 町 地 \mathcal{O} B 画 لح 行 十普助 要 等 村 化 象 村 方 \mathcal{O} 0 す 等 を う 市 が \mathcal{O} 公 通 言 作 共 年 交 広 る 広 行 町 加 等 成 な 経 と う 域 村 団法 付 域 入 を 等 広 化 又す体律税

① も 広 域 な 化 お 0) これ 状 況 5 を 0 踏 措 まえ 置 に つ 今 後 1 て は 必 要 に 市 町 応 じて 村 0 見 消 直防 すの

- 別時 伴定 件し、市とり 方の市町である。 域町の。 に 付 増 税 加 措 す 置 る 防 村消 行 運 を \mathcal{O} 防 講 営組 政 \mathcal{O} 計 合 広 ず に る。 要 画 せ 域 す 12 化 \mathcal{O} 基 る 作 経 成 都 づ 費 に < 道 に 要 ŧ 府 する経費 0 県 0 に V 0 限 推 て 所 る 進 要 及び 計 0) 画 臨 特
- 2 備 れ 行 置 す 備 定 で るも を 事 た わ 指 に \Diamond 市交 消な 講 業 行 町 針 る け ず 0 で 防 市 村 わ る。 に要 あ 署れ れ町 平 0) <u>岩</u>し る 村 も の 0 ば 成 消 て、 す な + 防 らない くは る経費に 組 \mathcal{O} \mathcal{O} 当該広 広 年 に 合 出 消限 せ 域 武城化後五年出張所又は指令 る。 化 防 に つ 庁 基 V 告 都 づ て 示 に き 道 第伴 所 平 府 令セ 要 年度以内 営 成 県 1 号) 0) 計 0 地方 ン 画 + 推 消 タ に に 防 兀 進 財 定 基 に 1 計 力 年 政 \mathcal{O} 完 0 \Diamond づ 度 画 了整 き整 ま
- 3 4 要伴 訓庁 定 す う め 舎 市 市 る 消 る 族 市 と 町 町 村 村 費に舎村 体 \mathcal{O} \mathcal{O} 消 的 消 . つ に 防 0 0) 防 整 **(**) 整組 \mathcal{O} \mathcal{O} 備 広 備 て 合 広 域 所 す せ 域 る自 要の 化 2 に 化 基 に に 伴地係 づく 主 都 ー い 新 債 防 る 道 災 事 ŧ 府 措置 業を 組 県 \mathcal{O} 織 に 改 0 築す を講 等 除限 推 < 0) る 進 んる消 ずる。 た 計 \Diamond 画 の防
- (6) (5) つ高 を 機 消 市 講 て 能 町 防 防災基 村 消 通 \mathcal{O} 防 信 消 指 • 令 盤 防 指 整 \mathcal{O} セ 令 備 広 施 域 事 タ 設 化 業とし] 消 に 伴 防 \mathcal{O} う て 整 救 消 所 備 急 防 要 に デ 防 0 要 ジ する 災 地 タ 施 方 ル 財 経 設 無 等 政 費に 線 0

る 。 基

盤

整

備

事 施

業とし

て 整

所 備

要の

地 す

方

財

政

措

置

一を講

練

研

修

設

等

0)

に

要

る

経費に

0

1

て

(2)と度 指

程 のれ 等 当 あの 度 取 る 0) るた市自 が ے ک 後 組 発 時 がめ町主 を を 生 間 村的 期 阻 B す 地不のな を 限 害過 る 要 域 断消市 に防町 لح す 度 懸 す に に L る 念 る 取の村 お てお 長 が ŧ け り広の 広そ 期 組域消 高 \mathcal{O} る 域れ لح \mathcal{O} ま 広 ん化防 化が 期 考 はの 域 で 0 て 広 にあ 限 え 化 い 取る を 5 か消域 お に ŋ 設 り な防化 れ と 組 け けのを る 11 むことが を る 広 7 れ体推 と 踏 方 域 ば制進 \mathcal{O} ま 集 化 で 合 なのす え 中 ら整る \mathcal{O} 意 必 る 的 取 な備期 大 形 要 と な 組 規 成 い及間 で 模 課び 広 が に 災 あ五域 急 は 題確 年化が害 相 で 立

(1) る 都 道 府 県 \mathcal{O} 推 進 計 画 等

変 更 都 又 道 府 は 策 県 定 \mathcal{O} 実 を 行 情 う に 照 ょ う 6 努 L \emptyset 必 る 要 لح 15 応 ľ 7 推 進 計 画 \mathcal{O}

な お 本 7 指 針 3 に に 定 行め うこ る 消 لح 防 広 域 化 重 点 地 域 \mathcal{O}

らの 後 れ 作各市定 成広町に \mathcal{O} た 平 当 等域村つ 化のい 成 広対消 \mathcal{O} 域象防は + 期 年 限 化市の に町広速 兀 で 月 向村域や あ けに化か る 日 平 たお ま 成取い で 組 て に十 をは 広 四 行 域 年 い広

域

本消

が営

定計

化度

を末

す 五.

る 年

実か指防

現ら針運

こ程め画

1 る 必推 要 進 な 計 措 画 置 に 定 に 関 \Diamond す る 市 る 基 町 準 村 \mathcal{O} 組 合 せ 及 び 都 道 府 県 に お け

略

す交 整 付 備 \mathcal{O} に 決 0 定 V 7 に 当 は た 0 消 て 防 防 特 災 別施 設 \mathcal{O} 等 配 整 慮 備 を す 費 補 る £ 助 金 \mathcal{O} と \mathcal{O}

取進あの ŋ す るた市自 組 がめ町主 る 村的 む た \otimes 不のな لح に れ 断消市 がは に防町 ま で 取の村 必 要当 り広の \mathcal{O} で 面 実 組域消 あ 績 ん化防 る を ではの 定 踏 11 広 ま か消域 \mathcal{O} 期 な防化 え 限 た けのを を れ体推 区 で ば制進 切 なのす ら整る つ て な備期 後 広 着 い及間 域 実 課び 化に 題確 に推 で立

(1)都 道 府 県 0 推 進 計 画 0 策 定 \mathcal{O} 期 限

は定 定 都 \otimes \otimes る 道 こ と ること。 府 県 が 12 望 お ま V L 7 は 11 が で 遅 き く と る 限 ŧ ŋ 平 早 期 成 + 15 九 推 年 進 度 計 中 画

(2)期

を後の 実 五 作各市 現 年 成広町 す度 等域村 る以こ内 `化の 内 広対消 域象防 平 化市の 成 に町広 向村域 けに化 +兀 たおの 年 取い実 組て現 度 ま をはの で) 行 い広限 、域 を 目 推 消 途 進 防 に計運 広画営 域 策 計 化定画

三 1 る 必推 に都推要進 な 計 画 に 定 \Diamond る る市 基町 準 村 0) 組 合 せ 及 び 都 道 府 県 に お

け

府計措 がのに 策 関

内 お道進 て県画置 自 主 的本定す な指 市針 町に 村 基 のづ 消き、防、 防 の当 広 該 域都 化道 を府 推県 進の す区 る域

にを

(3)(2)(1)広つい中、 次市 、くで消さ への町 化的か、防ら 略よ村 うの 対確の市需に 象に見町要 な消 市分通村の今 事防 項の 町析しの変後 村しに消化の に現 の、つ防 留 況

組認いが消 意 及 合識て将防 しび せすも来職 て将 る ど員 定来 めの 必市のの 要町よ高 る見 こと。 が村う齢 あのな化 協姿等人 る 力にの日

> (1) お 定 必 本 むめ要 次的自ねるが 市うめ認 町なるめ 村事こる の項と場 消をと合 防定さに のめれ 広るてそ こいの 域 化とる市 のと推町 推な進村 進る計を に 。画 対 関 に象 はと

> > L

おて

る

基

円 認

(1)

略

- (1)るには事 、項 `化意 制的そをし 7 整す広進定 備る域すめ 及こ化るる びとを必こ 計要と 画が 的あ かる す つと
- 次市に係を め 滑め £ とセて ンい市の消こつ サく町で防とい広に スこ村あのをて域留 をと る体目 得が住こ な肝民とのとの推 が要 らで消 推あ防 進り関 係 L 確 てこ者 立 いれ等 を くらの 図 よの理 る う関解 た

3

- (2)(1) こ通
- る模に財の要道 、くで消さ必別つ政動が府広の町努者得広推広にる推のな主次よあ 化的か、防ら要にい、向あ県域よ村めのて域進域推市進よ事的のうる 対確の市需にが十て人、るに化うのるコ進化す化進町計う項なよ努と象に見町要、あ分、事ここおをな消こンめはるはす村画な 市うめ認 市分通村の今る把市管れとけ推事防 町析しの変後こ握町理にかる進項の 村しに消化のとし村等対ら広すに現 `ののす 、域る留況 そ協状る各化に意及 の力況消都の当しび 問を等防道必たて将 題得の力府要つ定来 点つ市の県性てめの をつ町実にをはる見 分、村情お十、 、け分まとし 析消の し防消消る認ず `本防防消識 認部の本防す当 識の現部需る該 す規況の要必都
- つい中、 、つ防 ` 少 組認いが消子 合識て将防化 せすも来職の ど員進 る 必市のの展 要町よ高に が村う齢よ あのな化る 協姿等人 こ力にの口 とをな進の。得つ展減 つての少

とをな進の 。得っ展減 つての少

(3)

(4)場 必 要 な本 自合 な主に 3 指 お 措的 0 置ない 定 広 に市 7 域 \emptyset 関町は る 化 2 す村 消 対 るの本 防 象 基 事 消 指 広 市 づ き項防針域 町 き 村定 \mathcal{O} 化 80

(6) 本 指 針 略三 4 基 づ 定 \Diamond ること

(5)

広 重 \mathcal{O} 域 3 点 組 化に 地 合

をよる

進

す

る

た

8

に

域 せ

 \mathcal{O} に

> を 本

行 指

う針

基

づ

<

指定等

2

2

(1) め計

般町

論村

し消

て防

はの

消域

防化

本の

部規

の模

規

模 が

大 き

1

ほ ど

火

、広

 \mathcal{O}

一市こに都進

る画各推

とお道計

広

い府画

て県に

`は定

域以る

化下市

対の町

象点村

市をの

町十組

村分合

及考せ

び慮に

そし関

のたす

組上る

合で基 ` 潍

せ

(1) め計

を推

定進

`め

る画各推 に都進 とお道計 い府画 て県に は定 ` Ø 広 域以る 化下市

対の町

象点村

市をの

町十組

村分合

及考せ

び慮に

そし関

のたす

組上る

合

せ

を推

定進

で 基、淮

進

市 規 模

大

き

1

ほ

ど

火

本 指 針 2 に 基 づ き 定 8 ること

る

(4)必 要 自 な主 措的 置な に市 消3関町 防にす村 る \mathcal{O} づ事消 滑き項防 \mathcal{O} 広 域 化 を 推 進 す る た

8

に

定針る村定針項化針 後三の の基 円 な定 運め 営る 0) 確と 保 に 関 す る 基

本

(5)

的 参 に L 0 0 各 都 道 府 県 0 実 情 を

 $\sum_{}$ 災 にと考 係 る 関 係 機 関 相 互 間 \mathcal{O} 連 携 \mathcal{O} 確 保

(6)を項防るを 参 と考 に L 0 0 各 都 道 府

県

0

実

情

を

勘

案

る

がど験の し者代都なし本関市し本な広本 て 表道おて指す町て指事域指 、で (府 れと都あ関構常県都め五事のめ四 ばき道る係成備に道 者す消 府 のる防都県 コ委 道が ン員消府推 セ会防県進 ン等団 計 サのご 市画 、町を ス協 の議住村定 形機民のめ 成関代代る にを表表に 努設及 め置び消た るす学防っ こる識機て とな経関は

う 聴 かとま重 なす る け なは府 5 県 なあが いら推 とか進 さじ計 れめ画 、を て い関定 る係め と市 町又 ろ村は での変 あ意更 る見し をよ

要

で

般町 論村 との し消 て防 はの 、広 消域 防化 本の 部規 の模 が

のと求 うす のれ本記 、人の通 ま災 `めそた等 方 る 部 広口歴事し規 5 \mathcal{O} 略策 た \mathcal{O} 規域動史情か模管らの組の \mathcal{O} ŧ を轄れ上織災 \emptyset 例 地 広 模化態 し 考 目対等日島な 一人る に え 域域 で管害 えら 標象の常嶼が 段 ば つ口消 \mathcal{O} 化 階 事 を に市地生部らのの防現 ` Ø ごと 当情 は町域活な 目観力状財対 着 る 該 必村の圏ど各標点 を 実 を政応 の事、の市とか組踏運能 + に ず 0 組 組情人地町すら織ま営力 組 合 分 推 L 合 に 進 を口理村る言体え等が せ も合 考 せ \mathcal{O} す そ密的はこえ制つの強 کے せ とば る `つ観化 広 慮 5 れ度条 を を 、点さ あ 域 す لح わ検 ぞ及件管がお財 、轄適お政こかれ る 化 わ れ討れび VI ず、 せ を 必 う す 有人広面当む規れらる 段 るし口域積でね模かも 7 要 観 定 階 が 点 小際て減行のあ三等 ら望と め 的あ 規に い少政広る十にのまと カコ ~ る る。 ら、 模は、 るな 狭 万鑑消しな に たど地 لح 実 消 以み防いり 現 上めの域交 防 上るに

以み求

のとらの組の

標点織ま営力

とば政こかれ

当む等ら望と

万がに

、模管るで管害

、れ上織災

、を政応

つ観化

、点さ

等日島た上るめそた等

の市一人防現

情人地町つ口力状財対

そ密的は目観組踏運能

ぞ及件管とか体え等が 、轄すら制つの強

ے

い少政広がお規れらる

めの域交でねにのまと

人の通あ三か消しな 口歴事る十ん防いり

え財

狭適お模かも

の常嶼だ

域活な

れ度条

るて減行の

な

ど地

れ 動 史情

る

た

れび

地生部し規

の圏ど各を轄消

を口理村のの

有人広面る言

口域積

対

す

る

+

分

な

考

慮

が

で

事

ま災

` Ø

(2)

3

(1)点 実 組 て に げ 消 お る 本 消 防 合 推 中 国 指 防 広 せ け 進 に 的 る \mathcal{O} 針広 域 施 す おに 措 域 化 るけ 実 置 策 化 重 た る 施 を 及 3 重 点 点 め自 す 他 び \mathcal{O} 地 主 る 趣 地 \mathcal{O} 本 域 消的 広 指 旨 域 0 と 域 防な 針 を \mathcal{O} 指 広 市 に 化 踏指 定 域 町 ょ ま 対 定 え 化村 ŋ 象 4 \mathcal{O} 重の 広 市 に 趣 け点消域 町 掲 本 旨 る地防 化 村 げ 指 。 域 の 対 ょ る 針 広 象 り 各 以域市 £ 都 下 化 町 先 道 4

地

域

لح

1

う

 \mathcal{O}

枠

組

4

を

設

を 村 行 府 15

着の

県 掲

L

(2)

慮 域 す化既配 の存慮 る 必状の及 要況消び が及防留 あび広意 る非域す 常化べ 備基き 市本事 町計項 村画 のに 常基 備づ 化い のて 必行 要わ 性れ にた

配広

新 設

4 (4)(3)とするは おかいら の 変 又 は 2 ① *が* 県 む 域 組 の該 す あ 点 (略) 市町 また、こ いて 知事 必要 る。 できる。 重 重関 る 地 な 広 れ す 点 係 更 及 重 点 カゝ Ł 域 広が 域 お 9 'る っ は、 後、 村を じ地市め域町 が 認 を 部地 び が 地 点 \mathcal{O} に に 化 域 あ 対する都学 当 行うものとする。 を 域 指 対 化 (3)域 地 重 る あ を構成するよう、場が広域化対象市 _ 域 点関の指 村 該指定を行 定 象 る 都 市 は 0 対 \mathcal{O} + 8 るも 象とする重 道 Ł 指 \mathcal{O} 0 L 市 気 町 分 ずが高いますると、 域市に町 府 指 定に当たっては 意 村 のとし な 重 定 県 に町指村 見 道 点 定 を 消 0 \mathcal{O} 地 を 含 知 0) 府県の支 を 防 定され 求 す 域 更 事 \mathcal{O} 聴 0 防 重 て 1 む 次に の地域域体制 点 意 見 点 た は当 市 0 \emptyset 取 指 地 る意 等 とき 事 町 地 れた・聴くた 域とし 域 援 該意見等を尊 該当すると当 定 前 村 見 は 0 0 0) は 又 \mathcal{O} せ が 等 そ 指 は 変 内容ととも を 都 確 もの て 指 村 更 定等に が 事 \mathcal{O} 当 越 道 0) 保 後 に 組 あ 該 え 以 府 旨 で かとする。 定すること当該都道府に取り組 に合推せ 0 外 を 指 る き 0 の市 努 た 定 地 重 V な 場合に 8 7 L 当 進 0) L 域 1 る よ う 重 準 町 該 全 公 計 お

重

画部

当

村

(2)

都道

県

知

事

による

道

知

事

域 重

化 点

対 地

町 指

村

 \mathcal{O}

そ び

れ 公

ぞれ

域

定

及

表

等

府府

せ

を

構 県

成

す

市

町 広

村

の全

部 象

又 市 0

部

0 合

うち、

広域

化 る は、

0)

取

組

を先行し

て は

重 点

3 自 主 的 な 市 町 村 \mathcal{O} 消 防 \mathcal{O} 広 域 化 を 推 進 す るた め に

- 12 -

る府まのう 極必が⑤ ③②①具た県え他市消な 4 体めに 、各住広的にお各必村組置 になえ広等関 係職市民域に必け都要相織に 市員町及化は要る道な互法関 、な自府援間第す 町の村びを 村派に関推 措主県助に三る 間遣対係進 置的は等お十基 の等す者す をな、にけ三準 協 るにる

情対た

報すめ

提るの

供情体

相提の

談供整

対 `

応 普

体 及

制啓 の発

確等

報制

的要考 取措ら域 り置れ化 組をるに む定と関 こめこす と、かである。 府り研 県、 完 と こ

しれ てら

広を

域参

化考

のに

推し

進つ

につ

議

 \mathcal{O}

積

極 的

な

推

奨

仲

介、

調

、の町防措

推各と提事

進都を供が

す道踏そ行